

日本語の能力判定に係る試験等一覧に掲載する情報に関する調査 項目一覧

※各試験・評価について以下の1～3の各項目に関する回答を一覧にして収録する予定

1. 試験の概要 (シート1)

- (1) 能力評価の名称
- (2) 実施機関・団体
- (3) 目的
- (4) 開始年
- (5) 能力評価の主な対象
- (6) 年間受験者数
- (7) 合格者／レベル認定者数
- (8) 年間実施回数・実施時期（国内）
- (9) 実施地（国内・海外）
- (10) テスト方式（紙媒体，PC利用：CBT／CAT）
- (11) 評価を行う言語活動・言語能力等（読む・聞く・話す〔発表・やりとり〕・書く・その他）
- (12) 評価を行うレベル
- (13) 評価を行う科目と所要時間
- (14) 解答方法・方式（多肢選択形式・記述式・口述式）
- (15) 採点・判定方法
- (16) 結果通知方法（本人・機関）
- (17) 受験費用
- (18) 試験問題の公表
- (19) 試験・評価に関するホームページのURL
- (20) 御担当者様の連絡先 ※非公開

2. 社会で活用される試験に望まれる要素 (シート2)

- (1) テストスペック（試験の細目表）の有無
- (2) サンプル問題の公開の有無
- (3) 得点配分と合否の判定方法の公開の有無
※パフォーマンス評価等の場合，評価者に対する研修の有無
- (4) 試験の妥当性・信頼性を担保するための評価体制（第三者評価等）の有無
- (5) 試験開発・実施に際しIRT（項目応答理論）に基づく得点等化の有無
- (6) 結果分析へのIRT活用の有無
※IRTを活用していない場合，その理由。※非公開
- (7) 特に配慮を要する受験者への対応の有無
- (8) 個人情報保護や情報セキュリティ管理体制の有無
- (9) 不正（なりすまし，カンニング等），証明書等偽造等防止のための対策の有無
- (10) 緊急事態発生を想定した受験者安全確保を含む対応策の整備の有無

3. 「日本語教育の参照枠」レベル尺度との対応付けに向けて（シート3）

- (1) 当該テスト独自の Can do（言語能力記述文）の有無
- (2) 当該テスト独自の Can do（言語能力記述文）の妥当性検証の有無
- (3) 当該テスト独自の Can do（言語能力記述文）の妥当性検証方法 ※非公開
- (4) C E F Rのレベル尺度との対応付けの実施の有無
- (5) C E F Rのレベル尺度との対応付けの検証の有無
- (6) C E F Rのレベル尺度との対応付けの検証方法 ※非公開
- (7) C E F Rのレベル尺度との対応付けの検証方法の公表の有無
- (8) C E F Rのレベル尺度との対応付けの検証結果の公表の有無

<参考：日本語能力の判定に係る試験等（2021年1月15日現在・文化庁調べ）>

1. 日本語能力試験（J L P T）
2. B J Tビジネス日本語能力テスト
3. 日本留学試験(E J U)
4. J . T E S T 実用日本語検定
5. 日本語N A T - T E S T
6. J - c e r t 生活・職能日本語検定
7. S T B J（標準ビジネス日本語テスト）
8. J L C T（外国人日本語能力検定試験）
9. J P T（日本語能力試験）
10. T O P J 実用日本語運用能力試験
11. P J C 実践日本語コミュニケーション検定
12. 日本語テストシステムJ - C A T
13. J S S T（Japanese Standard Speaking Test）電話による日本語会話テスト
14. O N i T（Oral Nihongo Test）口頭ビジネス日本語試験
15. O P I c（Oral Proficiency Interview-computer）
16. L T I テスト（Language Testing International）
17. とよた日本語能力判定
18. 浜松版日本語コミュニケーション能力評価システム(H A J A C)
19. J F T B a s i c（国際交流基金日本語基礎テスト）
20. J P E T（日本語能力評価試験）
21. 日本語コミュニケーション能力測定試験 J L C A T
22. 日本O P I 研究会口頭運用能力テスト